

# HCC TIMES

Vol.224  
2022

https://npo-sgh.org

## 第17回 豊泉家R&D〈研究・開発〉発表会 グループ大会

2021年12月8日(水)、アシスタッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ホールで、第17回豊泉家R&D〈研究・開発〉発表会グループ大会を開催いたしました。

本会は、ご利用者様より高い品質の「顧客感動サービス」の提供を目的とし、豊泉家グループ全フェローが新規サービスの開発や改善事項を挙げ、社内プレゼンテーションを行い、グループ全体で共有・意見交換することでサービスの向上、発展を目指して行なっております。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、メイン会場には審査員とスパーバイザー、発表者のみ、お集まりいただき聴講者の皆様には各コミュニティよりWebを繋いでご参加いただきました。

グループ大会進出チームは下表の8チームです。(表1)

開会にあたり、一般財団法人SFC豊泉家 阿久根賢一 統括運営本部長より「日々の業務に加え、毎日コツコツと研究を積み上げ、発表の準備をしてくれた皆さまの頑張りに、まずは敬意を表したいと思います。現場の実践から導き出された研究成果は、豊泉家の貴重な財産になると思っております。また、R&Dをきっかけに主体的で意欲的な仕事を創造できるフェローが多く生まれることが、これからの豊泉家の発展につながっていくと考えております。本日は皆様の日頃の成果が存分に発揮され、素晴らしい発表になることを期待しております」と激励のお言葉を頂戴しました。

開会後、基調講演として認知症ケアPJより「認知症フレンドリーを実現に向けて」プロジェクトは更なるステージへ」をテーマに、続いて特別講演としてHOUSENKA OVID-19 UNIT60より「新型コロナウイルス科より「新型コロナウイルス感染症 第4波から第5波における当院コロナ病棟での取り組みについて」をテーマに発表いただきました。その後、エントリーチームより、8月に開催したドメイン大会から約4ヶ月間ブラッシュアップを重ねた内容を発表いただきました。

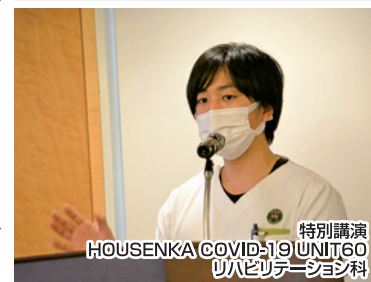
全ての発表が終了し、総評として豊泉家グループ代表 田中成和会長より「顧客感動サービスの創造を目的にR&Dを始め、17年が経ちましたが、年々発表の中身が非常に濃くなってきたとおりです。R&Dを通して、チームあるいはフェローとしての成長を願うと共に、発表の中から商品



NPO法人 SG博友会  
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号  
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552  
編集元 HCC事務局 石倉慎也



基調講演 認知症ケアPJ



特別講演 HOUSENKA COVID-19 UNIT60 の発表者

化あるいは日常化に繋がっていきたくて思っております。皆様の貴重な発表に対して、これからの商品化・事業化へ向けてしっかりと取り組んでいくことを約束いたします」と本大会に関わったフェローへの慰労の言葉と豊泉家グループの代表としての決意をお伝えいたしました。課題・目標設定力、「アイデア力」「表現力」「実現力」「感動力」の評価基準を設けた総合的な視点での厳正な審査が行われました。

その結果、

**「R&D大賞」**  
HAC (豊泉家アクティビティクラブ)

**「R&D最優秀賞」**  
SCM株式会社 施設管理事業部

**「R&D優秀賞」**  
HM会(ヘルスケアマネジャー)

**【特別賞】**  
HOME LIFE株式会社

以上の4チームが見事に各賞を受賞されました。いずれのチームも甲乙つけがたく、審査員同頭を悩ませました。受賞されたチームの皆様おめでとうございます。また、残念ながら受賞を逃したチームの皆様にも称賛を願いました。

今回の研究・開発が豊泉家グループに関わる皆様に向けてより良いサービスとなりまますよう、益々の発展を目指し邁進してまいります。今後更なる飛躍に向けてご支援ご協力をお願いいたします。

記者：山崎 和舞

〈表1〉参加チーム及びテーマ内容

エントリーチーム	テーマ
①HAP株式会社 PCC	新予防健康の開発 HAPの真価と可能性
②SCM株式会社 施設管理事業部	営繕保険についてのご提案 (サブスクリプション運用)
③HAC(豊泉家アクティビティクラブ)	CCRC豊泉家 芦屋山手におけるグリーンキャブス構築
④ケアハウス豊泉家 桃山台の可能性	ケアハウス豊泉家 桃山台の可能性 ~現状からの脱却~
⑤HM会	エイジレストレーニング ~メソッドの確立に向けて~
⑥HOME LIFE株式会社	HOME LIFEサービスの創造に向けての取り組み
⑦ハッピーローズ	新卒看護士に対するローテーション研修の効果
⑧NST(栄養サポートチーム)	2品の栄養補助食品による排便回数および費用対効果の比較



R&D最優秀賞 SCM株式会社 施設管理事業部



R&D大賞 HAC(豊泉家アクティビティクラブ)

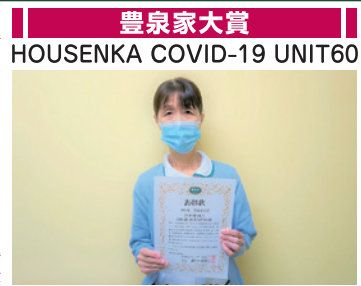
**フェロー大賞**  
安藤 市代 フェロー

これまでの経験を活かしてご利用者の体調管理を行ったと共に、医療介護の面からケアを考えた。ご家族のメンタルサポートにも取り組み安心を提供し、また、それらの取り組みからご利用者の支援と特別養護老人ホームの高稼働維持に大きく貢献したことが評価されました。



**豊泉家大賞**  
HOUSENKA COVID-19 UNIT60

新型コロナウイルスの感染拡大に合わせ、ベッド数を増設させたことにも、全国初の病院体運営型宿泊療養施設の開設を実現しました。また、発熱外来、後遺症外来各機関との連携による研究等を含めこの1年間に新型コロナウイルスに対し使命感と挑戦する勇気を持って多くのごことに取り組んだことが評価されました。



**フェロー大賞**  
山本 拓巳 フェロー

豊泉家が新しいことに挑戦する中で、現場フェロー及び統合管理本部内で密に連携を図り、スピード感を持って取り組み、就業規則改定に伴う勤怠管理システム及び給与システムの改修対応の中心メンバーとして活躍しました。また、課題に対し常に前向きな姿勢で取り組むことで信頼されるフェローに成長したことが高く評価されました。



**フェロー大賞**  
藤川 昌司 コメディカル本部長

コメディカル本部長として各部署と連携し、人財の最適化を図るとともに、両病院の検査機器等を必要に応じて相互に活用し合い、生産性効率性の向上につなげました。また、薬剤科のキャプテンとして病院のジェネリック使用率向上や医療サービスの経営改善に取り組み、病院のコメディカル部門の統括に大きく貢献したことが評価されました。



2021年 豊泉家大賞・フェロー大賞 年間賞

2021年に活躍し、年間の豊泉家大賞・フェロー大賞を受賞されたチーム及びフェローの皆様をご紹介します。受賞されたチーム及びフェローの皆様、おめでとうございます。

HCC北緑丘

メリクリスマス!

12月24日(金)、クリスマス当日に特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘2階機能訓練室、6階クリンルームにて、施設共催行事「クリスマス会」を開催いたしました。「くるみ割り人形」の朗読劇や、ソプラノ歌手とテノール歌手によるクリスマスコンサート等、盛り沢山の内容となりました。  
お帰りの際には「もう一回見たい!」や「素敵な演奏で感動したり」など嬉しいお言葉をいただき、大盛況のクリスマスとなりました。  
記者：原 慶彦



HCC桃山台

オフショインイベント「クリスマスディナー」

12月24日(金)、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台にて、人数限定のオフショインイベント「クリスマスディナー」を開催いたしました。聖なる夜に、町田浩児料理長によるフルコースをご堪能いただきました。また特別ゲストは海外でも活躍されているプロのソプラノ歌手とジャズピアニストによる特別コンサートもお楽しみいただきました。最後はサンタに扮したピーチライフ増田直記キャプテンと、トナカイに扮した内山香織バ



HCCチャレンジ

「NCLクリスマス会」

12月25日(土)、豊泉家チャレンジドホームNCLに面3階メロームにて「クリスマス会」を開催いたしました。「乾杯」の挨拶の後、豪華なクリスマス特別フルコースが運ばれてきました。その中でも、人気のキャラクターがあしらわれたフルツタワーに驚きの歓声が、お食事と共にソプラノ歌手とピアノの特別コンサートも盛り添えていただきました。



記者：高崎 孝宜

HCC住之江

12月24日(金)クリスマス会

12月24日(金)、住之江コミュニティで「クリスマス会」を開催いたしました。今回は、相愛大学音楽学部の学生さんによる、クリスマスコンサート実施いたしました。ピアノ、フルート、オーボエ、大きなマリリンバによる生演奏アンサンブル。また音楽療法を取り入れた演目もあり、身体もほぐれるコンサートで「嬉しいわー!」とお声もいただきました。コンサート後にはサンタ



記者：大村 篤史

HCC桃山台

クリスマスパーティー

12月24日(金)にアシステッドリビングホーム豊泉家桃山台、12月25日(土)にケアハウス豊泉家桃山台にて「クリスマスパーティー」を開催いたしました。ご入居者全員にクリスマスプレゼントをお渡ししと写真撮影を行いました。その後、ピアノや歌、フルートによる演奏を聴いていただきながら、ケーキを召し上がっていただきました。「このプレゼント、お花みたいで可愛いわ」クリスマスに毎年娘がケーキを焼いてくれたこ



記者：山本 有輝

HCC茨木

クリスマス会

12月23日(木)、ほうせんか病院4階緩和ケア病棟にて、クリスマス会を行いました。スカイローズフェローのバンド演奏の披露、また今回はなんと!患者様ご夫婦による腹話術やフラメンコの披露など、盛りだくさんで開催いたしました。また、ウクレレ演奏者様の演奏もあり、とても楽しい時間を一緒に過ごすことができました。  
感染症対策のため、2部

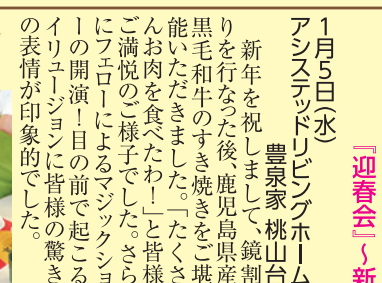


記者：山本 咲千代

HCC北緑丘

御利益がありますように「招福神社」

1月1日(土)、2日(日)の2日間に渡って、特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘1階デイルームにて1月度イベント「招福神社」を開催いたしました。先ずは、ご入居者お一人ずつお参りしていただき、おみくじを引き、絵馬を飾っていただきました。その後、茶道の先生による本格的なお抹茶とお干菓子をお召し上がりいただきました。お抹茶を飲んでいる皆様は笑顔でほっとしている様子でした。

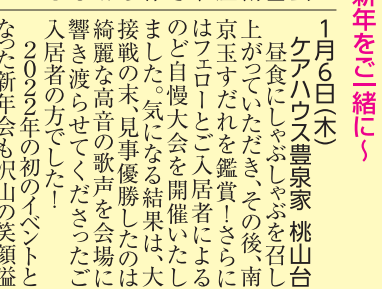


記者：山本 有輝

HCC桃山台

「迎春会」〜新年を一緒に〜

1月5日(水)アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台 新年を祝しまして、鏡割りを行なった後、鹿児島県産黒毛和牛のすき焼きをご堪能いただきました。「たくさんお肉を食ったわ!」と皆様ご満悦の様子でした。さらにフェローによるマジックショーの開催!目の前で起こるイリュージョンに皆様の驚きの表情が印象的でした。



記者：山本 有輝

新年特集



お抹茶を飲み終え、少し落ち着いたら、「獅子舞」が登場!お入居者もご参加いただけますようにと願いを込めて立ち回るとご入居者の皆様から盛大な拍手や「おおく!」という歓声が湧き上がり、新年から大いに盛り上がりつつあるイベントになりました。今年も皆様に「愉し」く「過ごしたい」だけ「過ごしたい」イベントを企画してまいります!2022年もよろしくお願いたします。  
記者：飯澤 峰生

開催いたしました。コロナ禍でも外出が出来ない中、少しでもお正月気分を感じていただきたいと考え、神社と甘味処を1階事務所に設置いたしました。神社では、皆様真剣にお参りされ今年も元気に過ごせますように「など、絵馬に願い事を書き、お供えいただきました。甘味処では、甘酒やおやつ、デザートは達磨落としやカルタなど懐かしい昔のおもちゃをご用意させていただきました。コマやけん玉に挑戦される方もおられ、それを話題にまた皆様

「迎春会」を1月8日(土)、9日(日)と2日間(渡り)に開催いたしました。お喋りも弾みましたが、両日ともお天気が良かっただけに、本来なら外出して初詣に行きたい所なのですが、寂しくもありませんが、多くの方から「ありがたう!嬉しい!愉しいわ!」とのお言葉もいただき、新年を一緒に迎える事のありがたさを強く感じた「迎春」でした。本年もどうぞよろしくお願いたします。  
記者：大村 篤史



記者：大村 篤史

HCC上町台

「迎春会」〜新年を一緒に〜

1月8日(土)、9日(日)と2日間(渡り)に開催いたしました。お喋りも弾みましたが、両日ともお天気が良かっただけに、本来なら外出して初詣に行きたい所なのですが、寂しくもありませんが、多くの方から「ありがたう!嬉しい!愉しいわ!」とのお言葉もいただき、新年を一緒に迎える事のありがたさを強く感じた「迎春」でした。本年もどうぞよろしくお願いたします。  
記者：大村 篤史



記者：大村 篤史

2021年12月度豊泉家大賞・フェロー大賞 月間賞

豊泉家大賞

豊泉家フェロー大賞

AC(介護)ドメイン

SCM(ソーシャルワーク)ドメイン

一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部

日々のフェロー育成のために計画準備を行なっているのはもちろんのこと、コロナ禍において、大勢のフェローが参加するイベントは通常の形で開催が難しい状況の中で、2021年度を望年会におかれまして中止することなく皆が揃い揃いの様工夫し取り組んでいました。チーム丸となり沢山のことに挑戦していることが高く評価されました。代表として梅本大地フェローにお話を伺いました。

記者：12月度月間賞を受賞したお気持ちをお聞かせください。  
梅本：非常に驚きましたが、チーム丸となつて取り組んだことを評価していただき、大変嬉しく思います。

記者：今回の取り組みの中で感じたやりがいについて教えてください。

梅本：コロナ禍になり、サービス提供を行う機会が極端に減つてきた分今回の望年会はフェローの皆様にも嬉しく、貴重な機会となりました。会を通じて参加者に直接会うことは出来ませんが、沢山の声や声や今回の賞をいただき、実施して良かったと思っております。

記者：最後に今後の目標を教えてください。  
梅本：これからフェロー数が増えつつある中、フェロー同士のつながりがあるからこを愉しめるのも、またそのつながりを活かしてフェローの普段とは違う良い一面が見られるようなイベントを創つていきたいと思っております。



一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部

社会福祉法人福祥福祉会 北緑丘コミュニティKCC 西井正人

記者：12月度月間賞を受賞したお気持ちをお聞かせください。  
西井：チームフェローが輝いているからこそ、受賞させていただいたと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

記者：今回の評価の中で意識して取り組んでいることはありますか。  
西井：日々の業務を丁寧に取り組んだ結果が今回の評価に繋がったと考えています。今回受賞させていただいたことで、日々の積み重ねの重要性を改めて実感しています。また、情報をどうやって正しく発信していかも意識して取り組んでおりました。ワタチン接種やPCR検査等でグループや法人の支えがあったからこそ出来る部分だと思っております。それに対してスピード感を持って取り組めたことも良かったと考えております。

記者：最後に今後の目標を教えてください。  
西井：2事業体になったことによりご利用者に深く寄り添ったことが出来てきており、今までは以上のご利用者の在宅生活を豊かにするためにこれからも挑戦し続け、今年度立てた目標達成を目指していきたいと思っております。



社会福祉法人福祥福祉会 北緑丘コミュニティKCC 西井 正人 キャプテン

SCM株式会社 設備管理 請負 工事 竹川 泰彦 チームスリー

記者：12月度月間賞を受賞したお気持ちをお聞かせください。  
竹川：自らの仕事を評価していただいたことがとても嬉しいですし、迅速に進めていくために心掛けたことはありますか。

記者：工事の手配や工程調整等を迅速に進めていくために心掛けたことはありますか。  
竹川：曖昧ではなく、しっかりと切り切ることやその場で決断することを大切にしています。第6波に備えるために、11月中には完了しなければならぬという責任感があったので、期日までに完了するために最良な選択が出来たように意識していました。また、施工業者とのすり合わせの際にも、その場で調べることも自身の経験に基づいて提案を提示することで常にスピードアップを図っています。

記者：最後に今後の目標を教えてください。  
竹川：豊泉家2030年Vision達成に向けて、自らが開発管理のプロフェッショナルになり、しっかりと各ホームに還元出来るような体制を創つていきたいと思っております。



SCM株式会社 設備管理 請負 工事 竹川 泰彦 チームスリー

フェロークラブ慶弔のお知らせ

社会福祉法人福祥福祉会 住之江コミュニティブルーWAVE 濱野浩行フェローが2021年10月17日(日)にご入籍されました。

前の職場のレクリエーションで出会った奥様のアプローチから交際がスタート。温泉旅行などゆつくりと過ごすことが好きなお二人は3年間の交際を経てゴールイン。今年3月には結婚式を控えているとのこと。  
今後のことを伺うと「豊泉家というしっかりとした生活基盤のもとで新たな家族を迎えたいです」と笑顔でお話いただきました。濱野フェロー、おめでとうござります。



フットサルサークル 始動!

11月29日(月)、フットサルヨコタにて新たに設立された「フットサルサークル」が開催されました。

本サークルはサークル支援制度を利用して一般財団法人SF豊泉家編成部所属の早志颯夫フェローと株式会社豊泉家所属の山田貴之フェローが代表を務め開始しました。ほぼ年寄りとなる豊泉家でのフットサルに参加したフェローは、久しぶりの活動に目一杯汗を流しませんでした。ゲーム形式だけでなく、パス練習、シフト練習をしつかり行うなど、育成部主催の際には見られなかった進捗もあり、代表者の特色が顕れるサークル活動となりました。「今後も継続的に活動を行いたい」とコンスタントな開催を語る山田フェローと、大会にも出場できるサークル活動にしたい」と語る早志フェローが率いるフットサルサークルに今後とも期待です。

育成部ではフェローの自主的な活動を支援する「サークル支援制度」を設けております。今回のフットサルサークルの他、バドミントンや卓球、スポーツなどのサークルが活動しております。サークルに参加したい、サークルを立ち上げたいとお考えのフェローには是非育成部までご連絡ください。

記者：梅本 大地



フェロークラブ掲板

第10回フェロー望年会

12月17日(金)、「第10回フェロー望年会」を開催しました。フェロー望年会は「年」を「忘」れるのではなく、来年を「望」む会として開催しております。新型コロナウイルス感染症対策のため、豊泉家ランドマーケット6階をメイン会場として各コミュニティをオンラインで繋ぎ総勢128名のフェローにご参加いただきました！今回のフェロー望年会は、初めてのプログラムである①フェローが競技に挑戦し1位を予想する「オールフェロー感謝祭」、②プレセンターが参加者フェローにランダムに電話を掛け、電話が鳴れば「攫千金」となる「豊泉家テレホンショッキング」、③「毎年恒例の豪華景品が当たる「大抽選会」をお楽しみいただきました。意外なフェローの思いもよらない一面も垣間見える中で、誰が勝つか楽しみながら予想したり、電話が鳴るよう一心不乱に祈ったり(笑)と大変賑やかなフェロー望年会となりました。

今回もたくさんのフェローと共に2022年を望むことが出来たことを嬉しく思います。ご多用のところ、ご参加いただきましたフェローの皆様、誠にありがとうございました。

なお、豊泉家フェローポータルでは「オールフェロー感謝祭」の出題動画併せて未公開動画も掲載しておりますので、皆様是非ご覧ください。記者：西田 奈奈子

